

ない
症状
大腸
自覚

内視鏡検査で早期発見を

木暮院長の患者サポーター②④

国立がん研究センターによると、大腸がんは女性のがんの死亡要因1位、男性は肺、胃に次ぐ3位となつている(2015年がん統計予測)。40代から罹患率が増加する大腸がんについて、消化器病専門医の木暮悦子院長(木暮クリニック)に話を聞いた。

「大腸がんは早期に治療すれば、ほぼ完治する病気です。しかし早期の大腸がんは自覚症状が乏しく、発見の遅れが死亡者数の多さにつながっています」と木暮院長は指摘する。

40歳以上はまず検査
自覚症状がない早期の発見はがん検査を受けるしかない。川崎市でも40歳以上の市民を対象に大腸がん検診として便潜血検査を実施している。「便潜血検査で陽性が出た場合でもがんの可能性は3%ほどです。不安にならず、積極的に内視鏡検査を受けて下さい」と木暮院長は話す。また、40歳を過ぎたら一度は内視鏡検査を受けた方がいいという。

血便などの症状が現れる頃には、ある程度病状が進行している状態だという。さらに血便を痔だと思ひ込み、発見が遅れることも、「安易な自己判断は一番危険です」と警鐘を鳴らす。

より詳細な診断

同クリニックは、特殊光

(NBIシステム)を使った拡大内視鏡により、がんやポリープの診断や治療を行

っている。これは粘膜構造や血管構造を拡大観察し、病変の良性・悪性、手術の要否など、より適切な診断ができる。女性医師による検査で女性も抵抗が少ない。「患者様の立場に立ち、的確な診療、早期発見や早期治療に努めます」

木暮クリニック

胃腸内科 消化器内科 内科 胃・大腸内視鏡

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	●	●
16:00~18:00	●	●	●	●	●	●	●	●

TEL.044-870-7710

http://www.kogure_clinic.jp



年始は8日前から診療

〒213-0001 川崎市高津区下作延2-4-3 清のロメディカルモール3階



木暮悦子院長

昭和大学横浜市北部病院消化器センターにて工藤進英教授のもと、内視鏡技術を学んできた。「患者様から信頼されるかかりつけ医」を motto に親身かつ的確な診療を行う。